

**dB**Technologies

# ES 1002

アクティブスピーカー / バイアンプ モノコラム システム

取扱説明書

 **entertainment  
system**  
1002



## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 <b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
 <b>電源プラグをコンセントから抜く</b>	<p>万一、異常が起きたら            煙が出た、変なおいや音がするときは            機器の内部に異物や水などが入ったときは            この機器を落とした、カバーを破損したときは</p> <p>すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。            異常状態のまま使用すると、火災/感電の原因となります。            販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。            万一、煙が出ていたり、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。            すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。            煙が出なくなるのを確認して、販売店まで修理をご依頼下さい。</p>
 <b>指示</b>	<p><b>電源プラグにほこりをためない</b>            電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災/感電の原因となります。            定期的 (年 1 回くらい) に電源 プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>電源コードを傷つけない</b>            電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしな            電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない            コードが傷んだまま使用すると火災/感電の原因となります。            万一、電源 コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に交換をご依頼ください。</p> <p><b>付属の電源コードを他の機器に使用しない</b>            故障、火災、感電の原因となります。</p> <p><b>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない</b>            この機器を使用できるのは日本国内のみです。            表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。            また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。            火災/感電の原因となります。</p> <p><b>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して設置する隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</b></p> <p><b>この機器の通風孔をふさがない</b>            通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p><b>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない</b>            火災/感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない</b>            内部に水が入ると火災/感電の原因となります。</p>
 <b>分解禁止</b>	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない</b>            カバーを外す、または改造すると、火災/感電の原因となります。            内部の点検/修理は販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご依頼ください。</p> <p><b>この機器を改造しない</b>            火災/感電の原因となります。</p>

## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災/感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 指示	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災/感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災/感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 禁止	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 注意	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

## 目次

安全にお使いいただくために.....	2
はじめに.....	4
本製品の構成.....	4
本書の表記.....	4
別売りアクセサリ.....	5
アフターサービス.....	5
結露について.....	5
製品のお手入れ.....	5
設置上の注意.....	5
商標および著作権に関して.....	5
ユーザー登録について.....	5
本機の概要.....	6
各部の名称.....	7
コントロールパネル.....	7
電源パネル.....	7
電源の接続.....	8
入力信号(音源)の接続.....	8
設置方法.....	8
スタンドポールの組み立て/取り付け.....	8
シングルコラムモード(スタンドポール1本).....	9
モニタースピーカーの接続.....	9
壁掛け設置.....	10
DSPプリセット.....	10
トラブルシューティング.....	11
アクセサリの取扱説明書ダウンロード先.....	11
仕様.....	11
一般.....	12
寸法図.....	12

## はじめに

このたびは、dBTechnologiesのバイアンプモノコラムシステム ES 1002をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- 取扱説明書(日本語)は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。

[<https://tascam.jp/jp/>]

- 最新版の取扱説明書(英語)については、dBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページから、“ES”の項目を選択して、上段“Manuals”の列から対象となるPDFファイルをダウンロードしてください。

[<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>]

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

### サブウーファーセット

- サブウーファー..... ×1
- スピーカースタンドポール(M20ネジ式)..... ×1  
(分離型。片側が伸縮式で、固定用ピンおよび蝶ネジ付き)
- コラムスピーカー接続ケーブル(モノラル用 2.5m)..... ×1
- ケーブル用クリップ..... ×2
- 電源コード..... ×1
- トップ・ウーファー用ソフトケース..... ×1
- 取扱説明書(本書、保証書付き)..... ×1

### トップスピーカー(別梱包)

- コラムスピーカー(トップ)..... ×1

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン/端子などを「POWER」のように太字で表記します。
- 本機のディスプレイに表示される文字を“MAIN”のように“\_”で使って表記します。

### ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

---

## 別売りアクセサリ

---

輸送や本体保護のために、下記の別売りアクセサリがご使用になれます。

- DO-ES212 (運搬用トローリー)
- DO-ES 1203 (デザインポール)
- WB-44 (壁掛けブラケット)

---

## アフターサービス

---

- この製品には、保証書が添付(巻末に記載)されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店/ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック 修理 センター(巻末に記載)が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター(巻末に記載)にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター(巻末に記載)までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番 (ES 1002)
  - 製造番号 (Serial No.)
  - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

---

## 結露について

---

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1~2時間放置してから電源を入れてお使いください。

---

## 製品のお手入れ

---

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

---

## 設置上の注意

---

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 本機の動作保証温度は、摂氏-5度~50度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合にハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオからの雑音が出る場合があります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発進時、通話時に本機から雑音が出る場合があります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。(設置部分の強度が不足している場合、落下や転倒して、人や動物・機器に損害の原因になります。)

---

## 商標および著作権に関して

---

- TASCAM およびタスカムは、ティアック 株式会社の登録商標です。
- Digipro は AEB INDUSTRIALE SRL の商標です。
- dBTechnologies は A.E.B Industriale SRL のそれぞれの国における商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

---

## ユーザー登録について

---

dBTechnologies の下記 ウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

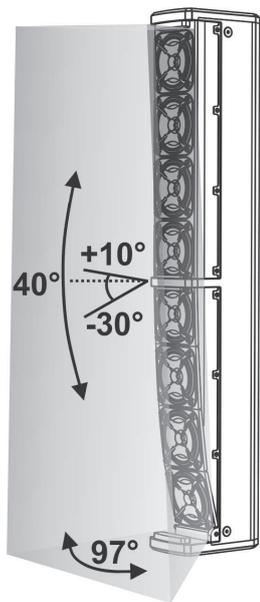
<http://www.dbtechnologies.com/en/support/register.aspx>

## 本機の概要

ES 1002は、ESシリーズのコンパクトなスピーカーシステムで、4インチ ミッドウーファーを8個搭載したトスピーカー 1台と12インチ ウーファーを2個搭載した木製筐体のサブウーファー 1台で、構成されたバイアンプモノコラムシステムです。

### 本機の主な特徴

- 曲線状のトスピーカーに搭載された8個の4インチ ミッドウーファーは、上下非対称な垂直 カバレッジを可能にし、無駄な音の分散を防ぎます。また、新しく設計されたフェーズプラグを装備し、水平 カバレッジを広げることで、さまざまな使用環境に適応します。
  - カバレッジ 範囲：垂直方向 [40°]、水平方向 [97°]
  - \* 垂直 カバレッジは上下非対称 (+10°/-30°)



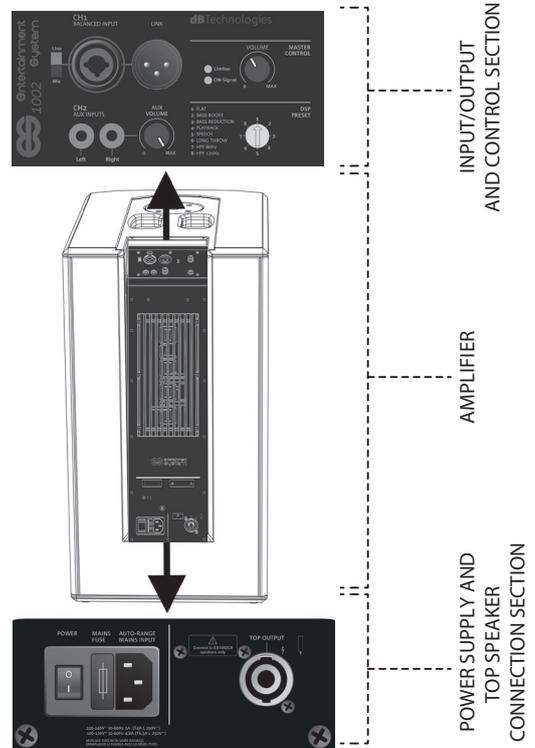
- サブウーファーは、前面にバスレフ構成の2個の12インチウーファーと背面にアンプモジュールとコントロールパネルが含まれています。入出力部には、最大2つの入力系統(独立したボリュームコントロールを備えたXLRモノラルとRCAステレオ)を接続することが可能で、第2のシステムまたはステージモニターに適しています。また、サブウーファーに内蔵されたアンプ部とトスピーカーの接続は、専用のケーブルを使用することで、簡単に確実な接続ができ、素早い設置が可能です。
- 運搬が容易で、高品質なコンパクトスピーカーシステムです。

トスピーカー	サブウーファー
5.8 kg	29.3 kg

### アンプ部およびコントロール部の機能

- 専用DSPによってEQ処理された入力信号を追加のスピーカーシステムにデジチェーン接続が可能で、さまざまな環境や用途(再生、ライブミュージック、スピーチなど)に適応します。
- アンプ部は、クラスDのDigipro G3アンプを搭載し、RMS出力[900W]の出力が可能です。また、静寂性に加え、専用DSPによる様々なパラメーターの制御が可能で、コントロールパネルから設置環境に合わせた設定が行えます。

- 専用DSPは、8種類のデジタルイコライザーがあらかじめプログラムされており、目的に応じてプリセット値を選択できます。
- ワイドな周波数特性と明瞭な音声の高音質を約束する最適化された音響技術を提供できます。
- MIC/LINE バランス 入力(CH1)、AUX 入力(CH2) の2系統の入力および1つのLINK 出力を装備しています。

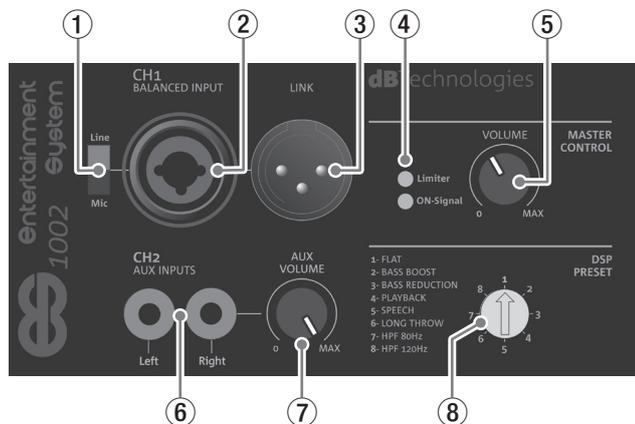


### 注意

- スピーカーを濡らさないでください
- アンプ部は、決して開けないでください。火災/感電や機器が壊れたりする原因となります。
- ケーブルの接続/取り外しは必ず、電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。また、付属のケーブルや別売りのケーブル以外は、使用しないでください。
- 適切な換気のために、サブウーファーのリア側のアンプ放熱フィンに塞がないでください。  
(オーバーヒートの保護回路が作動した場合は、アンプ部が適正な温度になるまで音量を徐々に下げます。適正な温度になると自動的に元の音量に戻ります。)
- 通電中は、本機正面の保護グリルを外さないでください。感電を防ぐため、保護グリルが損傷した場合や保護グリルを交換する場合、電源コードをすぐに抜いてください。保護グリルが外れた状態では、絶対に電源に接続しないでください。

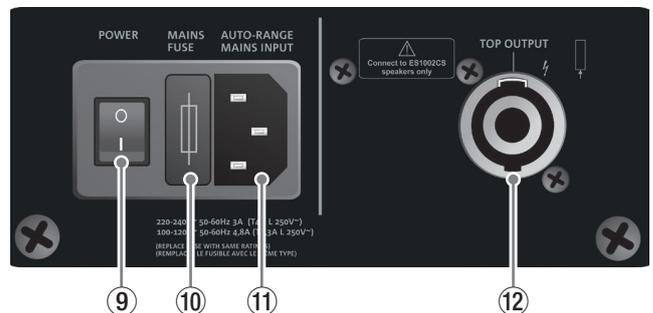
## 各部の名称

### コントロールパネル



- ① **Line/Mic**  
CH1入力の特性を[LINE]、または[MIC]に切り替えます。
  - ② **CH1 BALANCED INPUT**  
XLR/TRS コンボジャック 入力端子 (バランス/アンバランス)  
CH1 入力端子には、ミキサーやオーディオ 機器、またはマイクからの入力が可能です。
  - ③ **LINK**  
オーディオ XLR 出力端子 (バランス)  
CH1入力の信号を本機にデジチェーン接続\*1されたESシリーズのスピーカーシステム、または他のアクティブスピーカーへの出力\*2が可能です。  
\*1 デジチェーン 接続された2台目のESシリーズの①Line/Mic設定は[Line]側に設定してください。  
\*2 出力レベルは、⑤MASTER CONTROL/VOLUME の設定に影響されません。
  - ④ **Limiter LED/ON-Signal LED**  
**Limiter LED**
    - 入力信号の歪みによるアンプ 回路への悪影響やトランスへの過負荷から保護するためにリミッターが作動した場合、このLED が点灯します。**ON-Signal LED**
    - 電源投入時に短く点灯。
    - このLEDは、入力信号を検知した場合に短く点滅します。
- 注意**
- Limitter LED が連続して点灯したり、点滅を繰り返したりする状態は、入力信号の歪み音を伴う、過度の負荷がかかっている状態を示しています。そのまま状態で、長時間 スピーカーを使用した場合、機器が壊れたりする原因となります。接続した音源側の機器(ミキサーなど)のボリュームを調整して、本機に適正なレベルで出力されているかご確認ください。必要に応じて音源側の出力レベルを調整してください。
- ⑤ **MASTER CONTROL/VOLUME**  
本機の音量を調整\*します。  
\* ③LINK出力のレベルには影響しません。  
電源を入れる前には、音量を最小にしてください。

### 電源パネル



- ⑥ **CH2 AUX INPUTS (Left/Right)**  
RCA L/R 入力端子 (アンバランス)  
オーディオ 機器などの外部 ライン 機器から、ステレオ 入力が可能です。メインの②CH1 BALANCED入力とは、別系統の入力となります。
- ⑦ **AUX VOLUME (0 ~ MAX)**  
⑥CH2 AUX INPUTSに入力されたライン機器の音量を調整\*します。  
\* 電源を入れる前には、レベルを最小(0)にして下さい。
- ⑧ **DSP PRESET**  
入力ソースや設置環境に合ったDSPプリセット(EQ) を選択します。  
(10 ページの「DSPプリセット」)
- ⑨ **POWER (電源 スイッチ)**  
[O] は電源 オフ、[I] は電源 オンです。
- ⑩ **MAINS FUSE**  
本機は、ヒューズを備えています。  
万一、動作しなくなった場合は電源プラグを抜いてティアック修理センター (巻末に記載) にご相談ください。
- ⑪ **AUTO-RANGE MAINS INPUT**  
AC 電源 端子  
付属の電源 ケーブルを接続します。
- ⑫ **TOP OUTPUTS**  
トップスピーカーに接続\*します。  
\* 必ず本機のトップスピーカーを接続してください。  
その際、付属の専用 ケーブルをご使用ください。  
ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源 コードを全て外した状態で行ってください。

#### 注意

- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

## 電源の接続

1. 電源コードのコネクタ側(A)を①AUTO-RANGE MAINS INPUT 端子(B)に接続し、反対側のプラグをコンセントに差し込んでください。差し込んだコネクタ側とプラグ側に緩みやガタが無いことを確認して、⑨POWERスイッチ(C)をオンにしてください。

2. ④ON-Signal LED(D)が短く点灯します。

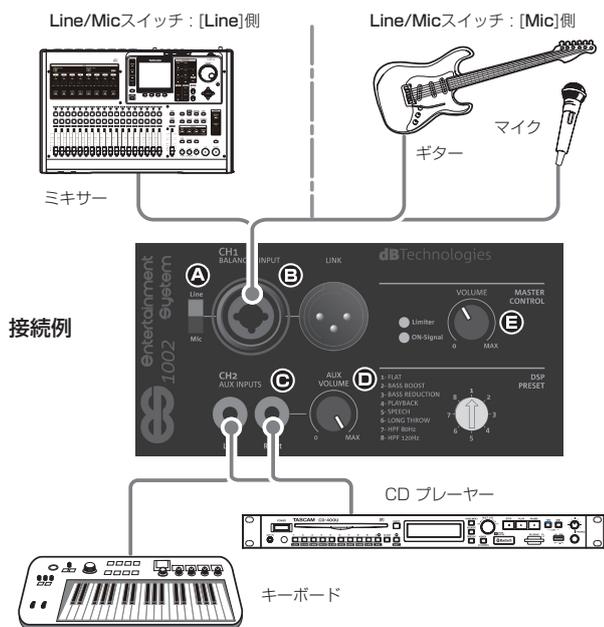


### 注意

電源を入れる前には、必ず音源側の機器の音量を最小にしてください。

## 入力信号(音源)の接続

下記に音源の接続方法を例で示します。



1. 本機サブウーファースの②CH1 BALANCED入力端子(B)に音源を接続してください。

その際、①Line/Micスイッチ(A)を接続する音源に合わせて設定してください。

音源	[Line/Mic] スイッチ
ミキサーやライン 機器の場合	[Line]
マイクやギターの場合	[Mic]

2. ステレオ音源となる機器(キーボードやCDプレーヤーなど)を⑥CH2 AUX INPUTS 端子(C)の[Left/Right]に接続してください。その際、L/Rの音源を間違えないように、注意して接続してください。

3. ⑦AUX VOLUME(D)および、⑤MASTER CONTROL/VOLUME(E)のボリュームを調整してください。

各種パラメーターの調整は、10ページの「DSPプリセット」を参照してください。

## 設置方法

### 注意

ここで紹介する設置方法以外で、絶対に設置しないでください。指示を守らない場合、人がけがをしたり、機器が壊れたりする原因となります。(5ページの「設置上の注意」も併せてお読みください。)

- 誤った方法で本体のハンドルや取付ネジ穴を使用して、本機器を設置したり、吊るさないでください。
- 別売りアクセサリを安全にお使い頂くために、定期的しっかりと固定・組み立てられているかチェックしてください。(弊社は、不適切なアクセサリの使用、または追加による損傷に対していかなる責任も負いません。)
- スピーカーは、必ず安定した場所に確実に設置してください。
- 安全上の理由により、適切な固定方法を用いることなくスピーカーを重ねて設置しないでください。
- 使用前に、すべての部品をチェックしてダメージ・変形・歪み・欠落がないか確認し、設置中の安全に問題がないことを確認してください。
- 電源を入れる前には、必ず音源側の機器の音量を最小にしてください。また、電源コードや接続ケーブルが各端子に正しく接続され、緩みやガタ等が無いことを確認してください。

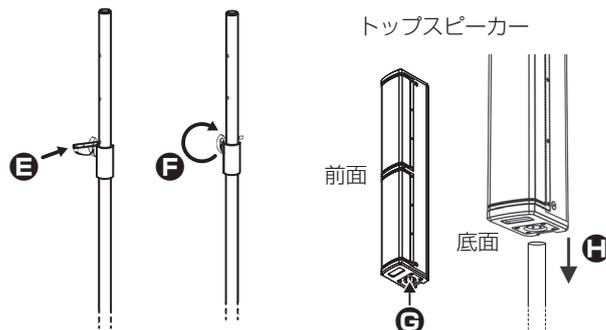
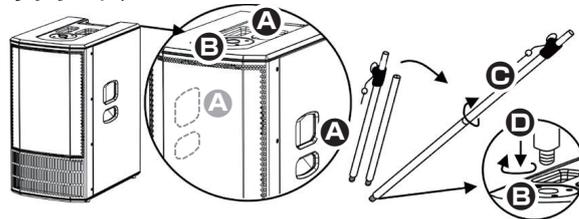
### スタンドポールの組み立て/取り付け

本機のサブウーファーには、天面に1つと両側面に2つで、合計3箇所のハンドル(A)があります。

天面には、トップスピーカー用に付属のスタンドポール(伸縮式)を取り付け用のM20のネジ穴(B)があります。

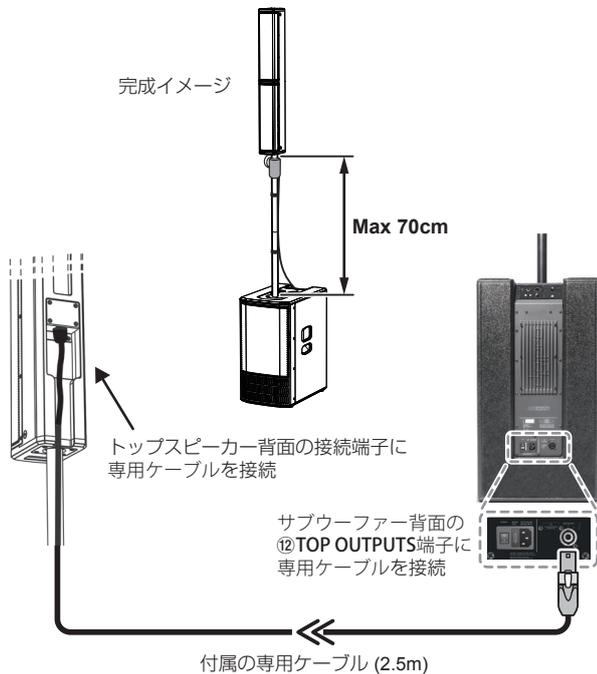
1. スタンドポール 上部(伸縮側)を時計回りに回して(C)、ポール 下部と接続し、組み立ててください。
2. 組み立てたスタンドポールをサブウーファースのネジ穴(B)に時計回りに回して(D)、取り付けてください。
3. スタンドポールの高さを調節するには、蝶ネジを緩めて希望の高さに合わせた後、固定用ピンを差し込み(E)、再び蝶ネジを締めてください(F)。
4. トップスピーカーの底部の取付け穴(G)にスタンドポールの上部を差し込んでください(H)。

サブウーファー



5. トップスピーカーの背面端子とサブウーファースの⑫TOP OUTPUTS 端子を付属の専用ケーブルで接続してください。

- 付属のケーブルクリップで専用ケーブルをスタンドポールに留めてください。
- 接続後、ケーブルや端子が正しく(ガタ、緩み等)接続されているか確認してください。



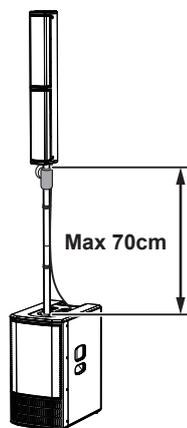
**注意**

- 安定した設置のためにスタンドポールの高さは、サブウーファー上部とトップスピーカー下部の距離が最大**70cm**の範囲でご使用ください。
- 配線作業は必ず、はじめにトップスピーカーをスタンドポールに取り付けてから作業を行ってください。

**シングルコラムモード(スタンドポール1本)**

トップスピーカーを付属のスタンドポールに取り付け、サブウーファーの上に配置する構成です。

全ての入力はモノラルで処理されます。



各種パラメーターの調整は、10ページの「DSPプリセット」を参照してください。

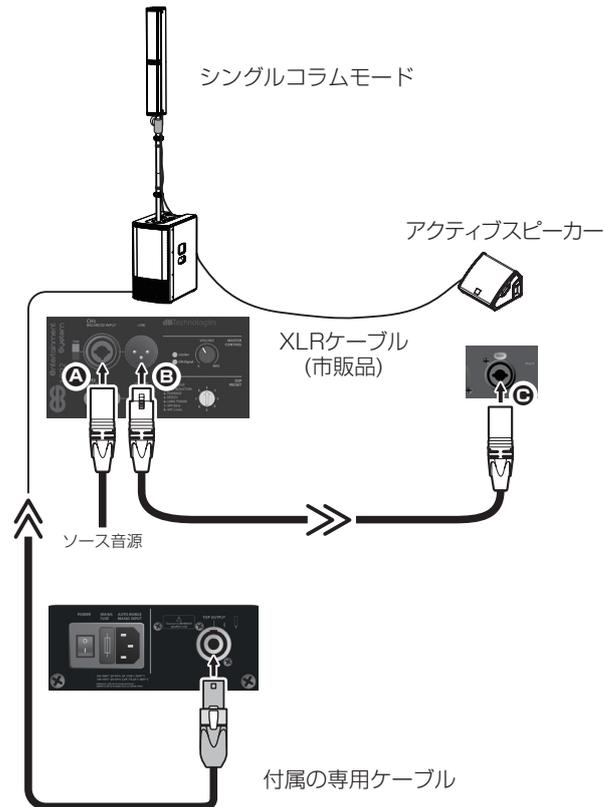
**モニタースピーカーの接続**

他のアクティブスピーカーに信号を出力する場合の接続方法を下記の例で示します。

例：トップスピーカーとサブウーファーをシングルコラムモードで接続し、サブウーファースの②CH1 BALANCED入力端子(A)にソースとなる音源を接続して、③LINK 端子(B)と別のアクティブスピーカーのInput 端子(C)をバランスXLRケーブル(市販品)で接続してください。

- アクティブスピーカー側に入力タイプの選択スイッチがある場合、[LINE]側に設定してください。

各種パラメーターの調整は、10ページの「DSPプリセット」を参照してください。



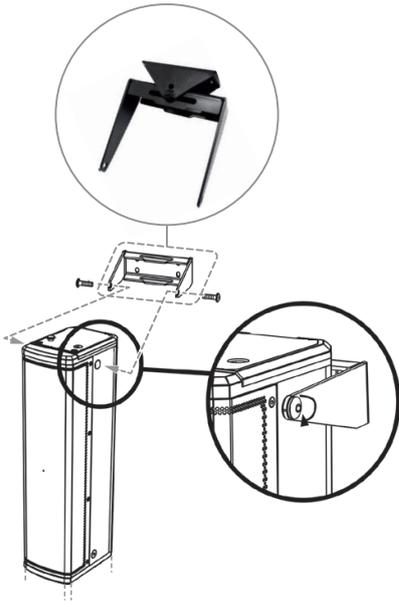
**注意**

安定した設置のためにスタンドポールの高さは、サブウーファー上部とトップスピーカー下部の距離が最大 **70cm** の範囲でご使用ください。

スタンドポールの適正高さ **70cm** を超える場合は、適切な器具(固定用ストラップ等)を使ってスピーカー全体をしっかりと地面に固定してください。(適切な器具や固定方法は、資格や経験を持った人(専門業者)にご確認ください。)

## 壁掛け設置

別売りの壁掛けブラケットWB-44を使ってトップスピーカーを壁に取り付けることができます。



### 注意

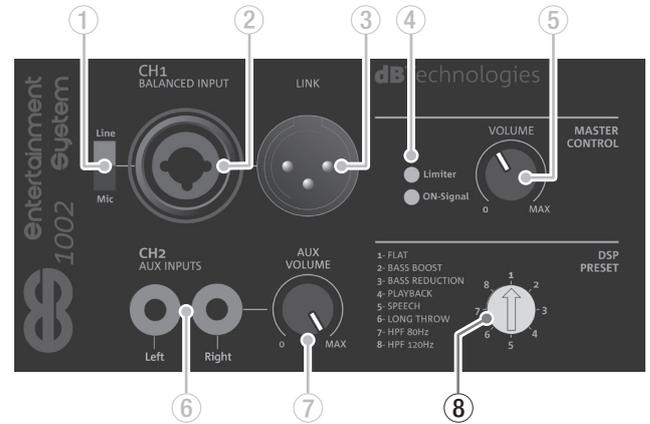
- 誤った方法で本体のハンドルや取付ネジ穴を使用して、本機器を設置したり、吊るさないでください。
- スピーカーを吊り下げる場合は、すべての部品をチェックし、ダメージ・変形・歪み・欠落がないか確認し、設置中の安全に問題がないことを確認してください。
- 設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。(設置部分の強度が不足している場合、落下や転倒して、人や動物・機器に損害の原因になります。)
- 適切な器具や固定方法は、資格や経験を持った人(専門業者)にご確認ください。

取り付け方法の詳細は、11 ページの「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」からWB-44の取扱説明書をダウンロードしてください。

## DSPプリセット

本機は、DSPによって処理される8種類のデジタルイコライザーがあらかじめプログラムされており、目的に応じてプリセット値を選択できます。

選択するには、小さなマイナスドライバーを使ってDSPプリセットを希望する番号に合わせてください。



1-FLAT	イコライジングをかけずに、入力されたオーディオ信号をそのまま出力します。ライブ公演などに最適なイコライザーです。
2-BASS BOOST	低域を増強します。
3-BASS REDUCTION	低域を減衰することで、反響の大きい空間における明瞭度の向上に最適です。
4-PLAYBACK	MP3 プレーヤーやCD からからの入力に使用する場合に、最適なイコライザーです。低域と高域の音が増幅されます。
5-SPEECH	ボーカルやスピーチ等のマイクを通して、入力する場合に最適な設定です。中高域を強調し、ボーカルをシャープにするイコライザーです。
6-LONG THROW	高域を増強した遠距離リスニングポジション向けのイコライザーです。近距離では使用しないでください。
7-HPF 80 Hz	ハイパスフィルター 80Hz, 24dB/oct
8-HPF 120 Hz	ハイパスフィルター 120Hz, 24dB/oct

## トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

### スピーカーの電源が入らない

- 電源ケーブルが、確実にACインレットに挿入され、本機の電源スイッチがONになっているかご確認ください。
- 主電源が、供給されているかご確認ください。

### 電源は入るが、音が出ない

- 音源側(マイクやミキサーなど)の信号が、正しく出力されているかご確認ください。
- オーディオ入力(L/R)にケーブルが、しっかり挿さっているかご確認ください。
- 入力レベルや入力ソース、出力レベルが適切な値かご確認ください。マスターコントロール/ボリュームまたは、AUXボリュームをチェックして、適正な値に設定してください。
- 各接続ケーブルに、損傷がないかご確認ください。
- 本機の専用ケーブルが、トップスピーカーとサブウーファーに、しっかり挿さっているかご確認ください。挿入後、右に回してロックすることで電氣的な接続を行います。

### 音が歪んでいる

- 接続した音源側の機器(マイクやミキサーなど)のボリュームを調整して、本機に適正なレベルで出力されているかご確認ください。
- 入力レベルや入力ソース、出力レベルが適切な値かご確認ください。
- 本機に接続した音源側のケーブルをご確認ください。ケーブルに損傷がある場合は、交換してください。

### 注意

- 電気回路を濡らさないこと。
- 適切な換気のために、サブウーファーを壁に密着させたり布で覆ったりしないこと。
- 適切な入力信号レベルで使用すること。
- 音を歪ませないこと。
- グランドループを避けること。

## アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先

各アクセサリーの取扱説明書については、dBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページから、"Installation"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となるアクセサリーのPDFファイルをダウンロードしてください。

- ダウンロードページ

<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>

## 仕様

形式	バイアンプ モノコラム システム
スピーカーユニット	
周波数特性	
-10dB	: 43 ~ 20,000 kHz
-6dB	: 56 ~ 18,000 kHz
最大SPL	: 130.7 dB (1m)
トップスピーカー	
MF-HF ミッドウーファー	: 4インチ × 8/個
MF-HF ボイスコイル	: 25 mm
サブウーファー	
LF ウーファー	: 12インチ × 2
LF ボイスコイル	: 64 mm
クロスオーバー周波数	: 160 Hz (24 dB/Oct)
指向性	: 垂直非対称
カバレッジ 水平 × 垂直 (上/下)	: 97° × 40° (+10°/-30°)
アンプ部	
形式	: Digipro G3 クラスD
RMS出力	: 900 W
DSP	
コントローラー	: 24 bit DSP
AD/DA処理	: 48 kHz AD/DA
リミッター	: ピーク、RMS、サーマル
操作部	MIC/LINE切替スイッチ、マスターボリューム、AUXボリューム
入出力	
入力	
MIC/LINE	: XLR/TRS兼用端子 × 1 (バランス: XLR/TRS、アンバランス: TRS)
AUX (ステレオ)	: RCA (L/R) 端子 × 各 1
出力	
LINK	: XLR 端子 × 1

## 一般

### 電源

AC 100~240 V(自動切替式)、50/60 Hz  
AC インレット

### 注意

日本国内においては、AC100 Vのみ動作保証となります。  
(それ以外の電圧で、使用しないでください。)

### 消費電流

2.5 A (100~120 V時) \*1  
4.8 A (100~120 V時) \*2

### 消費電力

19W \*3

- \*1: 通常の使用状況で、全出力が1/8の場合の消費電力  
(音楽再生中にクリッピングがほとんど発生しない状態)
- \*2: 通常の使用状況で、全出力が1/3の場合の消費電力  
(音楽再生中にクリッピングが頻繁に発生し、リミッターがかかる状態)  
設置時やツアー時は、\*2の値を参照にして電源容量を計算してください。
- \*3: 電源オンで入力信号がない時

### インラッシュ電流

21.04 A (230V~)

### 外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き、突起部を含む)

トップスピーカー : 110 × 905 × 160 mm  
サブウーファー : 360 × 680 × 545 mm

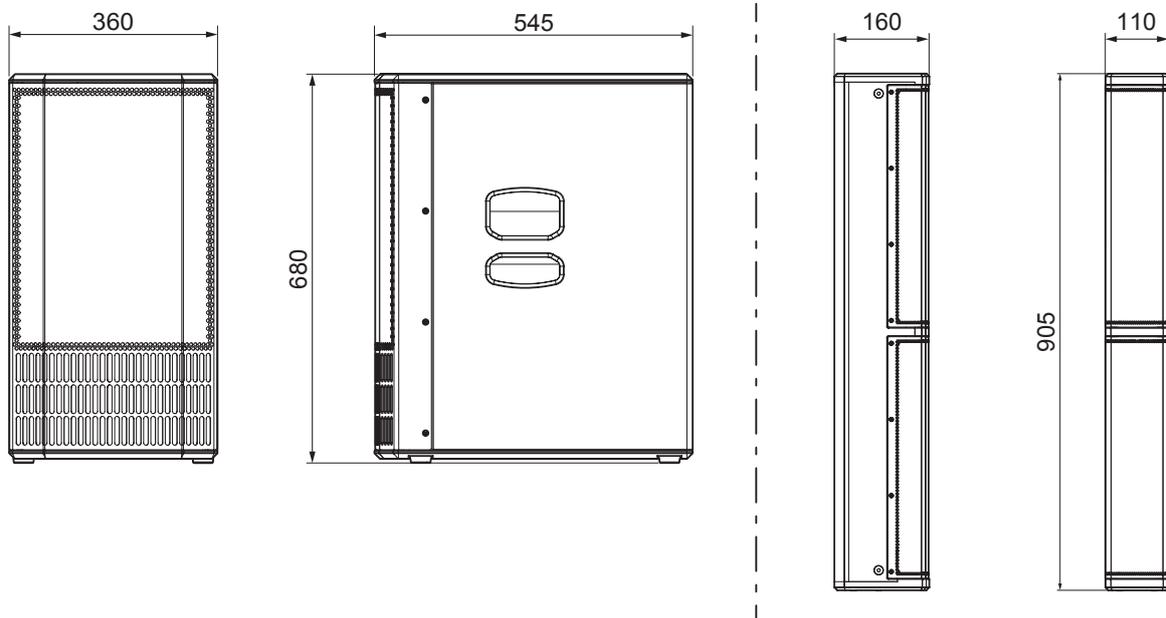
### 質量

トップスピーカー : 5.8 kg  
サブウーファー : 29.3 kg

### 動作温度

-10 ~ +50℃

## 寸法図



● 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

● 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。







### 無料修理規定(持ち込み修理)

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。  
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。  
(1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷  
(2)お買い上げ後の輸送/移動/落下などによる故障および損傷  
(3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷  
(4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷  
(5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

(6)メンテナンス

(7)本書の提示がない場合

(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
These warranty provisions in Japanese are valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

\*この保証書は、本書に明示した期間/条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。



# ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



## 0570-000-809

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障/修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



## 0570-000-501

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in Japan

## 保証書

品名	dBTechnologies ES 1002	
および 形名		
機番		
保証期間	本体	

お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	<b>見本</b>	

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービスに使用させていただきますので、ご了承ください。

## ティアック株式会社

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501(ナビダイヤル) / 04-2901-1033

0219 MA-2677A